

子育て支援について

尾口 五三 議員

問 生まれてきた子どもたちの成長のために安定した環境は、親だけでなく社会にとっても当然の義務であるとの考えから、子育て支援の充実を求め質問しました。保育料無償化に伴い、小中学校や保育園でも給食費の無償化や一部補助の考えはないのかと支援充実を求めました。

答 保育園につきましては、保育料無償化に伴う給食費の市独自の軽減措置については、現在調整中の国の制度設計の動向を慎重に注視し対応を検討してまいりたいと考えております。また、小中学校につきましては、生活保護世帯、準要保護世帯に対しては給食費を全額支援する制度がございます。

・他の質問項目：住みつづけられる郡山市について

城跡の桜を大切な財産として後世に手渡すための施策について 西村 千鶴子 議員

問 「さくら名所100選」に選ばれた郡山城跡の桜が衰えてきています。市民の財産である桜を城跡とセットで後世に手渡すために、改定中の「城跡公園基本計画」に、維持管理計画及び各種団体との協働の運営体制をしつかりと位置づけ、予算確保もしていただきたいと思います。公園管理者である市の今後の方針をお聞かせください。

答 約千本にも及ぶ桜を行政単独で維持管理するには限界があるため、基本計画改定において、市民団体等との協働を盛り込み、「みんなで支え合う郡山城跡公園」を目指した体制づくりに取り組みます。また、管理運営体制でのまとめ役として、公園管理者としての市の役割を明確に位置づけます。

水道事業について

上田 健二 議員

問 今年7月の西日本豪雨では、広島、岡山、愛媛の3県を中心に各地の給水機能がストップして甚大な被害を受けました。奈良県域水道一体化構想では、本市の浄水場の廃止が検討されているが、災害時のリスクを考えると深井戸を持つ自己水源は複数必要だと考えるがどうか。

答 確かに水源を多く持てば、補完性が高まり危機管理の充実につながると認識しています。県域水道一体化構想においては、自己水源の確保などの防災面や配水量減少傾向の中での経営、水道サービスなどトータル的な議論を行い、検証を深めていきたいと考えています。

・他の質問項目：コンパクトシティについて

新たな産業用地の確保について

乾 充徳 議員

問 奈良県と連携している工業ゾーン創出プロジェクトについて、現在の状況をお聞かせ下さい。地元への説明を早くしていただき、地域の活性化のために、今後も市は全力を挙げて企業立地に取り組んでいただきたい。

答 経済活性化及び雇用の場の確保を図るため、奈良県とともに、地元や地権者の方に向けた説明会、意向調査などを行ってきました。奈良県により、デベロッパー（民間開発事業者）へのヒアリングが行われましたが、事業参画意向のあるデベロッパーが見つからず、市街化区域編入を前提とした取り組みを進めることは困難であると判断されました。地元への説明について、早期に実施できるよう奈良県に打診しているところです。

高齢者の外出支援に伴うコミュニティバス等の充実について 吉川 幸喜 議員

問 超高齢社会を迎え、免許証の返納、引きこもり、買い物、通院等、今後、さらに高齢者の方の外出問題が深刻化する中で、特に公共交通空白地域の高齢者の方の医療機関、市の関係施設、買い物場所等への外出手段として「デマンド型乗り合い送迎サービス」の運行など、公共交通網についての市の今後の考えをお聞かせ下さい。

答 今後、高齢化が更に進み、高齢者の外出に関する問題が深刻化する恐れがあると充分認識いたしております。市の今後の方針としましては、既設の公共交通網の恒久的な維持を最重要課題とし、福祉部局とも協議し、他自治体の交通整備状況も考慮に入れ、より高齢者の方が利用しやすい公共交通網の整備を進めてまいります。

ブロック塀について

村田 俊太郎 議員

問 民間のブロック塀撤去に対する補助制度の有無や開始時期、撤去後のフェンス設置工事に対しては補助の対象となるか、お聞かせ下さい。

答 大阪北部地震後、公共施設の緊急安全点検を実施し危険なブロック塀については全て撤去修復工事を完了しました。民間のブロック塀に対しては、撤去に要する費用を対象とした補助制度を平成31年度から実施で考えております。また、奈良県の補助制度の内容が撤去費のみを対象としており、現在のところ、フェンス設置工事に対する補助制度は考えておりません。

・他の質問項目：学校環境の整備について
：スポーツ会館について